

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大津荷敷屋線道路局部改良事業	田辺市	3,195,500	2,692,000	
2						
3						
4						
5						

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大津荷敷屋線道路局部改良事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		田辺市				
交付金事業実施場所		田辺市本宮町小津荷				
交付金事業の概要		大津荷敷屋線は、旧国道でその先には集落が存在しており、住民には欠かせない生活道路であり、また非常時の迂回路としても重要な路線であります。 法面工事を行うことで、降雨時（大雨・台風）の法面崩壊といった危険を軽減し、通行を可能にすることで、住民の安全を確保しました。 法面工 延長L=13.0m、幅員W=6.0m				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		政策：第6章「快適」 施策：1. 生活基盤 単位施策：(1)道路網 ② 市道については、平成28年3月末現在で2,989路線、総延長1,372キロメートルとなっていますが、道路の整備水準を示す改良率は41.8パーセントであり、今後も計画的な整備が必要であるとともに、老朽化している橋梁等の長寿命化対策が大きな課題となっています。 ・生活道路の利便性、安全性を確保するため、道路の局部改良や舗装、維持など効率的・効果的な整備を進めます。 目標：地域住民の通行の安全を確保できること				
事業開始年度		令和6年度	事業終了年度		令和6年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度
		地域住民の通行の安全を確保できること	-	成果実績	件	-
				目標値	件	-
				達成度	%	-
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後早期に評価を実施				
		交付金事業の定性的な成果及び評価				
		道路を局部改良することにより、地域住民をはじめとする通行者の安全が確保されました。				

		成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無					
		無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和6年度		
	法面工 延長L=13.0m、幅員W=6.0m		活動実績	式	1		
			活動見込	式	1		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等		年度	年度	年度	備考		
総事業費		3,195,500	0	0			
交付金充当額		2,692,000					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		2,692,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
法面工事		一般競争入札		竹内工務店(田辺市)		3,195,500	
計						3,195,500	
交付金事業の担当課室		建設部土木課					
交付金事業の評価課室		企画部企画広報課					